

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		重度心身障害者訪問入浴サービス				所管	福祉部 障害福祉課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]					[事業開始]	平成 2 年度	
							[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	台東区障害者地域生活支援事業実施要綱				
	事業対象	身障手帳1～2級、愛の手帳1～2度で、介助や福祉用具によっても家庭での入浴が困難な者。							
	事業目的	家庭での入浴が困難な重度心身障害者(児)に入浴の機会を提供し、障害者の衛生的・健康的な生活を維持することで福祉の増進を図る。							
事業内容	家庭に移動式の浴槽と看護師の資格のある介助者等を派遣し、自宅で入浴困難な障害者(児)に入浴サービスを提供する。 (52回/年) 区民税非課税世帯及び生活保護世帯を除き、入浴回数に応じて自己負担がある。 サービス利用決定の際に必要な医師の意見書料も助成する。								
委託の有無	全部委託		委託内容	訪問入浴の実施					
補助金の有無	国・都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	利用者数 (人)		10	10	10	9		
		利用回数 (回)		500	470	478	451		
	成果指標	利用率 (%)		100.0	86.2	98.9	98.9		
	決算額 (単位：千円)				4,474	4,358	4,380		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			409	916	852		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			4,467	4,353	4,377		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			7	5	4		
		総経費			4,883	5,274	5,233		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			108	93	28		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			2,231	2,020	2,124		
一般財源 (区負担額)			2,544	3,161	3,081				
前年度から改善した事項		個々の障害者の状態により、他制度の活用等も含めより有益な障害福祉サービスの提供となるように、相談支援事業所との連携を図り、本事業のサービス提供をすることにした。							
評価の視点		評価	評価の理由						
	必要性	4	本事業は、身体の状態や自宅の構造などにより、他制度(ホームヘルプなど)の利用では入浴が困難な重度の心身障害者が対象であり、衛生的・健康的な生活維持のため必要な事業である。						
	効率性	3	区が提示した仕様書に基づくサービスを提供できる専門の事業者へ委託することにより、実施に必要な移動入浴車などの機材及び入浴介助に熟練した従事者を確保でき、より質の高いサービスを効率的に提供している。						
	手段の適切性	3	より質の高いサービスを提供するため、専門の事業者へ委託することは適切である。また、24年度より希望者には夏季期間には週2回の入浴機会の提供しており、各利用者のニーズに合わせたサービスの提供を行っている。						
	目的達成度	4	利用者に長期入院や施設入所などの状況の変化がほとんどなく、当初の予定通りサービスを提供することができたため、利用率は高くなった。、重度心身障害者に入浴機会を提供するという目的達成度は高い。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
障害状況等により入浴が困難な重度心身障害者が健康的かつ衛生的な生活を送るため現状を維持する必要がある。						維持			